

飯舘 百景

ガーデンレポート

さまざまな種類の花に出会える松原光年さん(小宮)の庭。6月中の日曜日にはオープンガーデンを開催し庭に迎えた客人をお茶や手打ち蕎麦でもてなしました。



武藤やい子さん(二枚橋・須萱)のポピー畑



佐藤真弘さん(二枚橋・須萱)の見事なサツキ



菅野真由美さん(草野)のバラは胸ときめく華やかさ

村には四季折々に美しい庭がたくさんあります。そして訪ねてみれば、それぞれのお庭に歴史や物語があるのでした。

松原光年さんは季節の花の庭づくりを続けて20年。震災前にも地域の人達とオープンガーデンを開催していて、現在は「飯舘オープンガーデンの会」の会長を務めています。交流センターに花を飾るボランティアや花壇の整備などを仲間と共に続け、村を花で彩っています。

武藤やい子さんのポピー畑は、県道沿いに鮮やかに広がり、満開になると多くの人が車を降りて写真を撮っていました。「村の入口に近いので、村を訪れる人を迎える気持ちで手入れをしています」。

佐藤真弘さんの庭は50年以上前に、ご両親が山の木なども取り入れて二から造った庭。当時岩を動かして湧き出した地下水で、錦鯉も飼っています。「庭の手入れをしていると、亡き父と話をしているような気持ちになりますよ」。

そして菅野真由美さんのバラは、帰村した際に植えたもの。手入れを続け、枝を誘引して現在の姿に。菅野さんが営む美容室「パーマはうす髪化粧」のお客様や県道を行くドライバーを楽しませています。

村には他にも気になる素敵な庭がたくさんありますね。庭の数だけあるだろうストーリーがますます気になります。